

事務事業名 民間保育所運営費補助事業

出力日：令和06年03月18日

キーコード：305

施策：	17	子育て支援の推進	財務コード	01030205-08-240
基本事業：	04	幼保サービスの充実	担当部	健康福祉部
基本事業の成果指標	待機児童数（保育所） 待機児童数（放課後児童クラブ） 保育サービスの満足度		担当課	保育児童課
			担当係	保育児童担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	～		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画		
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
市内私立認可保育所（9園）			私立保育所に対する運営費の交付対象とならない人件費等の運営費補助 筑紫野市私立保育所運営費補助金交付要綱に基づき予算の範囲内で交付。 補助内容 保育士、看護師の配置・児童給食費（3歳以上の主食）等の補助						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
私立認可保育所に対する運営費補助を行い、保育士の確保及び安全で衛生的な保育事業の充実を図る。									
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	03年度 実績	04年度 実績	05年度 当初	06年度 要求	07年度 計画	08年度 計画	目標
私立認可保育所の保護者の産休明・育休明途中入所児童数		人	163	141	200	200			160
受け入れ児童数（4月1日現在）		人	1,637	1,774	1,720	1,720			1,478
5. コスト									
事業費		計	千円	53,968	56,910	56,914	56,914		
		国	千円	10,260	10,548	0	0		
		県	千円	3,151	1,392	1,392	0		
		地方債	千円	0	0	0	0		
		その他	千円	0	0	0	0		
		一般	千円	40,557	44,970	55,522	56,914		
正職員人工数		人工	0.2	0.1	0.1				
正職員人件費		千円	1,584	773	782				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	55,552	57,683	57,696	56,914			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）	保育士を対定数以上に雇用することで、育児休業明けの年度途中入所を計画的に受け入れることが可能となっています。 平成29年度以降、国補助金（保育対策総合支援事業費補助金 / 保育利用支援事業 毎年の要綱による）、令和元年度以降、県補助金（3歳未満児保育所等入所確保事業費補助金 R1～R4）を令和4年度まで活用しました。 令和5年度から育児休業復帰等による年度途中の入所予約申込を廃止し、毎月の入所申込に変更したため、育児休業明入所児童数は減少することが考えられます。								
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	なし						
成果向上余地	中程度								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）									
改善方向性			維持	見直し	廃止	事業終了			
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）			備考・特記事項 or 進行管理欄						
平成28年度から1園増につき増額（50,000千円 53,261千円） 28年度まで市単費だったが、29年度以降、国・県補助金を活用。（令和4年度まで） 令和4年度から1園増につき増額（53,261千円 56,914千円）			平成27年度要綱改正 補助対象項目のうち、委託費に含まれることになった嘱託医設置・冷房費について削除						